

地域・社会との関わり

地域に根ざした地域貢献活動や次世代育成に貢献する教育支援活動を積極的に推進しています。

理想科学は、地域の清掃活動や交通安全活動などへの参加、工場・事業所の地主や近隣の方々への定期訪問を通じて地域とのコミュニケーションを積極的に図っています。また、環境学習の支援を行っています。

2009年度の主な取り組み

- 環境学習の支援
- 製品を通じた社会貢献
- 寄付・協賛
- 理想教育財団による教育現場への支援・助成

環境学習の支援

「印刷」を題材に環境教育プログラムに協力

当社は、2004年度から神奈川県川崎市立柊形中学校の環境教育プログラムに協力しています。2009年度は、12月に行われた同校の「エネルギー環境教育ワークショップ」に参加しました。

当社の事業に関わりのある「印刷」を題材に、コミュニケーション手段としての印刷の役割をはじめ、印刷における地球資源の消費、環境への負担が少ない印刷に向けた取り組みなどについて説明しました。

また実習授業として、ガリ版印刷の「版の作成」から「印刷」までのプロセスを体験してもらいました。



ガリ版印刷の体験



講義

製品を通じた社会貢献

プリントコミュニケーションを支援

「リソグラフ」「オルフィス」の即時性、高速性を生かし、多くの方が集まるスポーツイベントや文化活動の場で速報や号外の発行に、リソグラフやオルフィスが活躍しています。

2010年1月に開催された関東大学駅伝や2010年3月に開催された東京マラソンでは当社も大会運営への協力として、オルフィスXにより速報を印刷しました。印刷した速報は、選手をはじめ多くの方々にお渡しすることができました。



速報の配布

寄付・協賛

災害救援金を寄付

2009年度は、ハイチ大地震およびチリ大地震での被害に対し、日本赤十字社を通して寄付を行いました。

理想教育財団による教育現場への支援・助成

教育現場での調査・研究と関連活動を支援・助成

理想教育財団は、1984年12月の設立以来、20数年にわたり学校・家庭・地域社会におけるコミュニケーションの確立を使命として活動しています。学校における創造性豊かな学習活動の展開を図るため、教育現場での調査・研究と関連活動への支援・助成を行っています。

活動事例●「はがき新聞」作成の教材提供

はがきという限られた紙面において、伝えたいことを端的に表現し、楽しく読んでもらうためには、紙面の構成や文章、イラストなどにさまざまな工夫を施すことが必要となります。

理想教育財団では、「はがき新聞」を制作する教材を提供し、その作成過程における「まとめ力」「表現力」「コミュニケーション力」の育成とPISA型読解力^{解説1}の向上のための授業を支援しています。また、全国の実践協力校と連携し、教育に関する調査・研究を行っています。



はがき新聞

解説1 PISA型読解力

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力。(読解力向上プログラム：平成17年12月文部科学省)